



労務篇

— 労務補償・社員対応 —



経済補償金だけでは終わらない



人の問題を後回しにすると、**整理は止まる**





この資料を読む症状



このような症状が出ていませんか？



① 社員への説明時期を決められない



② 経済補償金の見立てができていない



③ キーマンが先に動き出している



④ 未払い賃金、休暇、社会保険の整理があいまい



⑤ 集団化、仲裁、告発が心配



⑥ 本社と現地で危機感が合っていない



1つでも当てはまれば、
この資料の確認対象です。



よくある誤解

誤解
1



経済補償金を払えば終わる

誤解
2



発表は最後でよい

誤解
3



社員対応は、
人事や専門家に任せればよい

誤解
4



本社決定後に考えれば間に合う



実際には、労務問題は『金額』だけでなく、
説明の順番、対象者、タイミング、証拠、
感情の扱いで大きく変わります。

専門家に相談する場合でも、会社側の事前整理は必要です。





放置すると起きる地雷



① 噂が先に広がる



② キーマンが先に退職する



③ 社員が集団化する



④ 未払い項目を後から指摘される



⑤ 労務仲裁や行政相談に発展する



⑥ 現場資料や証憑の回収が難しくなる



⑦ 本社説明と現地対応がずれる



労務問題は、最後に処理する問題ではありません。
現場を動かす人が不安定になると、設備、在庫、証憑、
税務清算にも影響します。



まず確認すること

— 再編・整理の第一歩は、現状の正確な把握から —



1.

社員名簿

在籍者、契約形態、勤続年数、役職、勤務地



2.

労働契約

契約期間、更新状況、職務内容、勤務地変更条項



3.

賃金・手当

未払い賃金、残業代、賞与、手当、立替金



4.

社会保険・住宅積立金

納付状況、基数、未納・不足の有無



5.

年休・残業

未消化年休、残業記録、代休処理



6.

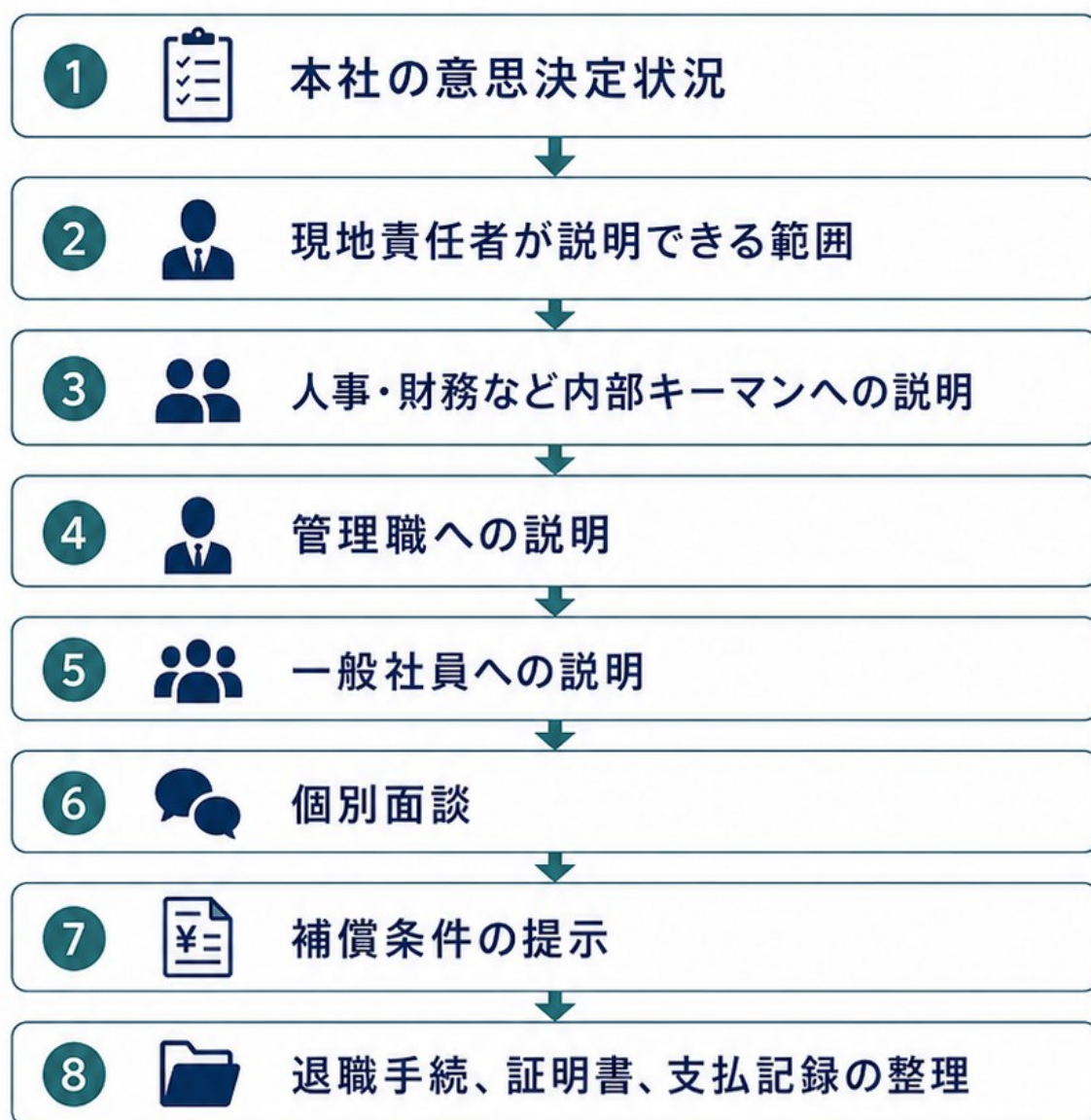
キーマン

財務、人事、設備、倉庫、購買、通関、環境、安全担当



説明の順番を間違えない

説明の順番を間違えると、現場は一気に不安定になります。



早すぎる説明は混乱を招きます。遅すぎる説明は不信を招きます。
労務対応では、タイミングそのものが実務です。



実務チェックリスト

- ☐ 社員名簿は最新か
- ☐ 労働契約書は全員分そろっているか
- ☐ 勤続年数を確認したか
- ☐ 経済補償金の概算を出したか
- ☐ 未払い賃金・賞与・手当を確認したか
- ☐ 社会保険・住宅積立金の不足を確認したか
- ☐ 未消化年休を確認したか
- ☐ キーマンを把握したか
- ☐ 誰に先に説明するか決めたか
- ☐ 説明内容を本社と現地で合わせたか
- ☐ 支払記録・退職書類の保存方法を決めたか
- ☐ 労務仲裁・行政相談への備えを確認したか

☐ が多いほど、労務対応の再確認が必要です。



まとめ・関連資料・免責



労務対応は、経済補償金の計算ではありません。
社員への説明順序、キーマン対応、未払い項目、
証拠の残し方、本社と現地の認識合わせまで含めて、
整理する必要があります。



人の問題を後回しにすると、設備、在庫、証憑、
税務清算、原状回復にも影響します。



関連資料

- リスク診断票
- 中国現地法人 再編・整理の取扱説明書
- 処方薬シリーズ
- 支援内容



免責

本資料は、中国現地法人の再編・整理に関する一般的な実務上の
注意点を整理したものです。個別案件の法務・税務・労務判断については、
弁護士、会計士、その他専門家にご確認ください。